3回戦
10年秋季リーグ
第8週・10月27日
2勝1敗

立正大0－1駒大

9人の投手リレーで最終戦を飾る!!

初登板ながら満塁の危機を凌いた山口大

4回、2死二塁の好機に、戸柱恭孝(現2)が内野安打を放つと、相手の失策も絡み、先制する。投げては5回、2死満塁の危機に登板した6番手・山口大尭(政2)が打者を三振に切って取る。9回には、9番手・村上浩一(経1)が走者を出すが、後続を抑えて零封。秋季リーグ最終戦を白星で飾った。

リーグ戦デビューを果たす5人！

西村大志

荻晃宜

柏瀬光一

増渕開

勝ち点4で秋季リーグ閉幕

前戦で、入替戦への切符を手にした駒大。最終戦に勝利し、1部・国士大との入替戦に向け、弾みを付けたいところ。

この日、多くの投手を起用した小椋正博監督。初登板5人を含む1、2年生の投手陣をリードした捕手・戸柱は「自分が引っ張ってやろうと思った」と気合を覗かせる。そんな頼れる女房役が攻撃でも魅せた。

両者無得点のまま迎えた4回。2死二塁の場面で打席に立った戸柱は「食らい付いていった」と執念の内野安打。相手一塁手の暴投間に、走者の奥野智也(経3)が生還する。

1点のリードを守り切りたい投手陣だが5回、5番手・増渕開(仏1)が2死満塁の危機を招いてしまう。代わってマウンドに立つのは、山口大。プレッシャーを感じた」という言葉とは裏腹に、打者を見逃しの三振に抑え、無失点で切り抜ける。

最終回、9番手の村上は、先頭打者にいきなり右越二塁打を許す。だがその後は危なげのない投球を披露。「低めを意識した」と、後続3人を飛球に打ち取り、勝利をもぎ取った。

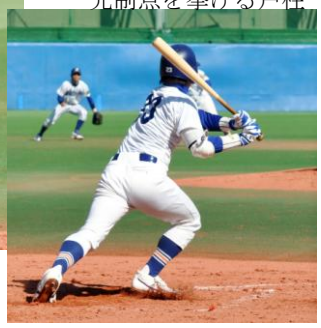
最終戦を9投手による完封リレーで締め、有終の美を飾った秋季リーグだったが、次は1部・国士大との入替戦。笠間将裕主将(商4)は、舞台となる神宮に「特別な気持ちはない」と話す。入替戦に対しても「やってきたことしか出来ない」とあくまで平常心。08年春以来の1部昇格に向け、次戦ついに聖地・神宮で入替戦に臨む。

	1	2	3	計
立正大	000	000	000	0
駒　大	000	100	00x	1

【駒　大】	打安点
⑥　岡	410
④赤　木	310
⑦山　下	300
8小　林	000
⑤白崎浩	310
DH 長　内	200
HD 増　本	100
③笠　間	200
⑧奥　野	100
PH 谷　口	100
9松　尾	000
②戸　柱	310
⑨87 嘉数駿	300
計	2640

	回		打安責
三　浦	1		400
栗　林	1		400
荻	1		410
小　倉	1		410
西村大		1/3	200
増　渕		1/3	300
○山　口	1	1/3	500
柏　瀬	1	1/3	610
村　上	1	2/3	610

連続三振を奪い、吠える村上



【下】内野適時安打を放ち、先制点を挙げる戸柱

写真＝菊池美紀、鈴木達也
堀江あゆみ
文＝水出綾香